

いのえないしんのう

井上内親王に捧げる歌

額田王の秋山の歌をたまはりて

天皇の、内大臣（うちのおほまへつきみ）藤原朝臣に勅（みこと）のりして、
春山の万花（ばんくわ）の艶（にはひ）と秋山の千葉（せんえふ）の彩（いろどり）とを競（きそ）わしめたまひし時に、額田王の、歌を以（うた）らて判（ことわ）れる歌

冬木成 春去来者
不喧有之 烏毛来鳴奴
不闹有之 花毛佐家礼杼
山乎茂 入而毛不取
草深 執手母不見
秋山乃 木葉乎見而者
黄葉乎婆 取而曾思努布
青乎者 置而曾歎久
曾許之恨之 秋山吾者

ふゆごもり 春さり来れば
鳴かざりし 鳥も来鳴さぬ
咲かざりし 花も咲けれど
山を茂（も）み 入りても取らず
草深み 取りても見ず
秋山の 木の葉を見ては
黄葉（もみじ）をば
取りてぞしのぶ
青きをば 置きてぞ嘆く
そこし恨めし 秋山ぞ我は 額田王
「万葉集」卷一・十六



御霊神社本宮（五條市霊安寺町）の紅葉

作 川村優理

冬が隠れ
春が静かに
この土地に
やって来たなら
鳥はまた鳴き
花はまた咲き
土地をいろどることでしよう

春が栄え
夏がいつしか
この土地に
やって来たなら
山また茂り
草はあふれ
緑あざやかなことでしよう

夏深まり
秋の香りが
この土地に
やって来たなら
実りの色に
土地は色づき
豊かな重みを知るでしよう

秋枯れゆき
冬が静かに
この土地に
やって来たなら
木の葉舞い散る
風の季節に
空の深さを知るでしよう

長いとしつき
自然はあなたを
この土地で守りたもうた
長いとしつき
人はあなたの
思いを感じた

春と夏と秋と冬と
鳥と花と山と風と
時の流れの中に埋もれ
またよみがえり
またふりかえり
いのりは
長く
いのちは
長く
ここに
お鎮まりください



吉祥天女画像 薬師寺蔵